



一宮町

新庁舎建設 基本計画(素案)に 関する住民説明会

日時:平成23年10月10日 18時～

場所:ホテルシーサイドオーツカアルファプラザ

はじめに・・

- ・ この計画素案は、新庁舎の建設について、幅広く意見交換を行うために作成したもので今後の設計の指針となるものです。
- ・ 庁舎についての現状と課題を整理し、基本的な考えを示したうえで、議会や町民の皆さんからのご意見を参考に、最終的な計画を平成23年度中に取りまとめる方針です。

(1)新庁舎の現状と課題

現状と課題

①建物強度の低下

- 耐震診断の結果、**耐震性に課題**がある。
- 防災拠点としての不安。

②行政効率の低下

- 事務スペースが狭く、書類保管庫も少ない。
- 来客との打ち合わせスペースもない。

③住民サービスの低下

- エレベーターや多機能トイレが整備されていない。
- 相談室などがなく、プライバシー保護が十分でない。

**現在の役場本庁舎は、
阪神・淡路大震災級の地震
で建物が破壊してしまう
と診断されています。**

平成9年度の耐震診断でIS値0.5と診断されています。
防災対策本部となる庁舎は、IS値0.9以上が求められます。

阪神・淡路大震災 平成7年1月17日



地震発生時のNHK神戸放送局

平成19年から平成23年の主な被害地震

※気象庁HPより抜粋

発生年月日	M	地震名	最大震度	津波
平成23年3月11日	9.0	東北地方太平洋沖	7	9.3m以上
平成22年2月27日	7.2	沖縄本島近海	5弱	10cm
平成21年8月11日	6.5	駿河湾	6弱	36cm
平成20年7月24日	6.8	岩手県内陸南部	6強	
平成20年6月14日	7.2	岩手・宮城内陸	6強	
平成20年5月8日	7.0	茨城県沖	5弱	
平成19年8月18日	4.8	千葉県南部	5弱	
平成19年7月16日	6.8	新潟県中越沖	6強	32cm
昭和62年12月17日	6.7	千葉県東方沖地震	6弱	

現在の役場本庁舎には、
63人の職員が勤務しています。
1日およそ**200人～300人**
の住民の方が来庁しています。
年間で約**7万人**の住民の方の
ご利用があります。

新庁舎建設の必要性

新庁舎は、
阪神大震災級の地震が
起きても壊れずに、
役場の業務が続けられる
ように建て替えます。

(2)新庁舎の基本理念

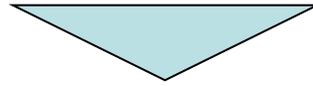
基本理念

だれもが利用しやすい
まちづくりと防災の拠点

庁舎は子どもからお年寄りまで多くの町民が訪れます。日常的に、住民のだれもが利用しやすく、職員が働きやすい場所であること、また、台風・洪水・地震・津波など、多様な災害への対策機能を備えていることが重要と考えます。

(3)新庁舎の建設計画

新庁舎



どこへ

どのような建物を

どうやって

いつ

どこへ(建設するの)?

～建設候補地を4カ所を選定し検討～

①現庁舎位置

②駅周辺資材置き場

③林業試験場跡地

④中学校周辺の民有地

～3つの視点(ア・イ・ウ)で比較～

ア.実現性と経済性

建設用地の取得費は？

土地造成工事の必要性は？

工事に何年かかるの？

～3つの視点(ア・イ・ウ)で比較～

イ.利便性

交通アクセスはしやすい？

他の公共施設との距離は？

町の都市計画との関連は？

～3つの視点(ア・イ・ウ)で比較～

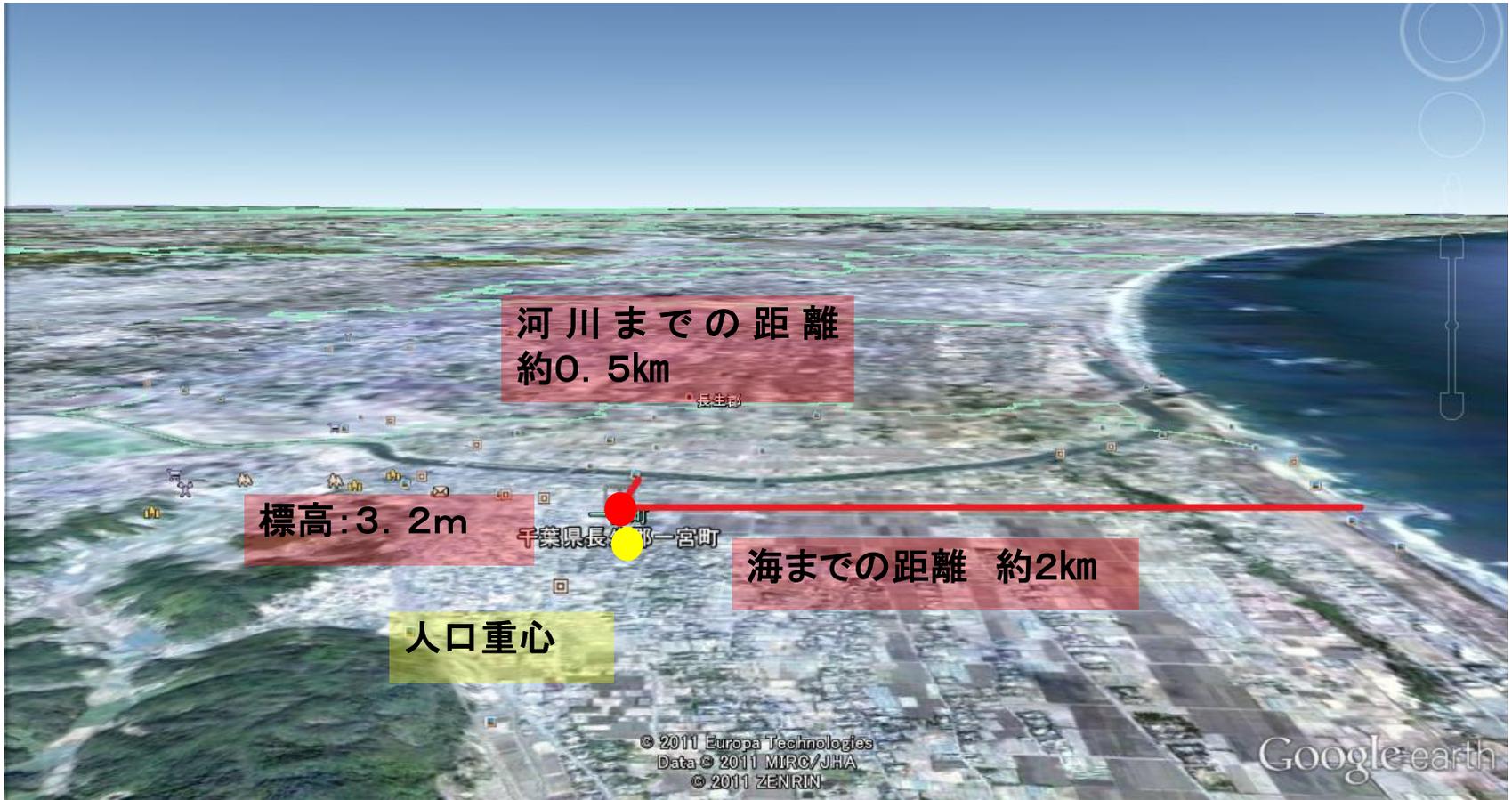
ウ.防災拠点と安全性

津波や地震の影響は？

防災関係者が集まりやすい？

援助・支援活動はしやすい？

①現庁舎位置



人口重心までの距離: 約350m



敷地面積: 2,922m²

交通安全宣言

10月
交通安全宣言
交通安全宣言
交通安全宣言

SIDA



一宮町民会館

交通安全宣言
交通安全宣言
交通安全宣言



交通
信号
の
所
に
あ
る









①現庁舎位置の特徴

- 新たに建設用地を取得する必要がない。
- 早期に建設ができる。
- 保健センターや中央公民館と連携した業務ができる。
- 町の中心に位置している。
- 住民の利便性、交通アクセスもよい。
- 大津波以外の災害への活動がしやすい。
- 保健センターや中央公民館などとの連携により、災害時の支援活動の連動性が高い。

(※地震、台風、竜巻、雪害、伝染病、放射能汚染、大規模な交通や海難事故など)